

社協だより

はあと



ふれあいネットワーク

岩国市社会福祉協議会
玖珂支部地域版

岩国市玖珂町4933-2
☎(0827) 82-3231



寄ってみんな祭! 来てみんな祭!! (東部地区作品展) が開催されました。

令和5年11月24日(金)・25日(土)の2日間、東部コミュニティセンターにて「東部でなんかやらん?会(上谷・下谷・欽明路・中野口・河内地・野口上の6地区)」主催で開催されました。今年で2回目の開催となり、昨年からの地域のみなさんの手作り作品・思い出写真の展示、ワークショップに加え、プレジール・リフレとも連携し、作品の交換展示や店舗の一部を活用し野菜・遊休品などを出品したまごころバザーも行われました。今年はず年を上回る160名を超える方々が来場し、大いに盛り上がっていました。



新年の「ごあいさつ」

新年あけましておめでとうございます。

また新たな気持ちで、皆様とともに「社会福祉」の営みが、地域の住みよい暮らしの一助となるよう、希望に溢れたスタートになればと思っています。

旧年中は、社協会費や赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金等、多大なご協力ご支援をいただき誠にありがとうございました。

連日、マスコミの報道をみていると、多くの事件や犯罪、ひいては戦争等、不穏なニュースで溢れています。景気も株価は上がれど円安も高じて、日々の暮らしに影を落としています。そんななか、「社会福祉」の理念や実践は遅々として明確な成果を生み出しているように見え、歯がゆいものにも思えてきます。

人々が本来目指すべき「幸福な社会」は、どうすれば実現できるのでしょうか。

「社会福祉」は、一人も残さず誰もが幸せを分かち合い享受しうる社会の実現だと思いますが、実は世情不安の今日だからこそ、ますます必要かつ重要な営みだと信じています。不安定な社会の緊張と葛藤のなかでこそ、私たちの「社会福祉」は試されているといえます。

その意味でも、地域の皆様の活動と、様々な社会資源が有機的に、それぞれの持ち味も機能的に繋がっていくことで、社会的な貧困や弱みを少しずつでも良い方向へ、幸せの方向へ、改善していけるのではないかと考えています。今年末、少しでも「幸せでした、いい年でした」と思えるために……。

本年も、皆様の社協へのご理解及び温かいご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和六年 元旦

岩国市社会福祉協議会

玖珂支部担当理事 山本 秀明

岩国市社会福祉協議会支部担当理事の交代について

このたび、岩国市社会福祉協議会玖珂支部におきまして、支部担当理事の交代がありました。令和5年12月14日より、新しい支部担当理事が就任いたしましたので、新旧理事より玖珂町の皆様へご挨拶させていただきます。

岩国市社会福祉協議会 新玖珂支部担当理事 山本 秀明



私はこのたび、令和5年12月14日付で、岩国市社会福祉協議会玖珂支部担当理事に就任いたしました。

岩国市社会福祉協議会との関わりは、平成18（2006）年から、玖珂支部運営協議会委員としてですから、もう17年にも及びます。その間、微力ではありますが、岩国市社会福祉協議会の運営や状況について、その都度、意見や未来への思いを述べさせていただいた経緯がございます。

「福祉」は、社会的弱者への目配り、援護や救済という本命がありますが、昨今、その関心もその手立ての議論も薄れてきたように思っています。

平成12（2000）年に施行された「介護保険」で、それまでの「福祉」の捉え方が、「介護」という視点で社会的に大きく動いたという認識があります。それは今日の超高齢社会に向けての確かな一手ではありましたが、その中身は、個人と業界との契約ありきというビジネスモデルでした。いろいろな事情で契約の難しい個人は、しだいに見放され置いてきぼりになっていったように感じています。またサービスのコストも上がり、社会的弱者には、いろいろな面で利用し難い制度になっているのでは、と危惧しています。実は「介護」＝「福祉」ではないからです。「介護保険」全体は、巨大なマーケットになり、様々なサービスが工夫され展開されていますが、今では人材不足もあり、市場競争にコロナ禍が追い打ちをかけ、廃業や倒産といった法人も出てきました。そのあおりを受け、従来の「福祉」人材不足もそれ以上に拍車がかかっています。

「福祉」は、従来、それぞれの人がそれぞれの幸せを願い、助け合うことが当たり前の社会を構築しているという営みだと思っています。それは契約でもビジネスでもなく、人道的な哲学に近いものかもしれません。その意味では、福祉社会の実現を中核的に担っている社会福祉協議会が、その町で活性化していることは、町が明るく「思いやりに溢れた風土がある」といえます。その基盤強化のためには、さらなる人材と財源が不可欠です。基本的に、行政からの補助金でなりたっている法人なので、法人自らの経営努力には限界があり、市からの手熱い財政支援と絶え間ない目配りがないと、たちまち痩せ細ってしまう関係があります。さらに、地域住民の「福祉」への関心と協力、ボランティアな支援も引き続き欠かせません。

これから社会福祉協議会が、市の本来的な福祉の拠点として、機能していけるのか、地域住民のための必要不可欠な基盤になり得ているのか、ますます問われていると思っています。そのための尽力は惜しまないつもりですが、皆様方におかれましても、どうぞ今まで以上に、社会福祉協議会へのご関心とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

岩国市社会福祉協議会 前玖珂支部担当理事 村岡 啓子



私こと、この度11月30日をもちまして、岩国市社会福祉協議会玖珂支部の担当理事を退任いたしました。

平成27年8月に就任して8年、地域の皆さまをはじめ関係各位、各団体の方々のご支援とご協力をいただき、大過なく任期を務められましたことを、誠にありがたく心よりお礼を申し上げます。

後任には、山本秀明氏が就任されました。同氏は識見高く、福祉職の経験が豊富であり、これまで以上に各福祉事業の推進を図っていくものと確信しております。

結びに、皆さま方のこれまでのご支援ご協力に感謝いたしまして、退任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

大変、ありがとうございました。



令和5年度 「表彰受賞おめでとうございます」



下記に開催されました各表彰式典において、玖珂町の福祉関係に功績を残された個人・団体の皆様が受賞されました。おめでとうございます。
(敬称略・順不同)

10月16日（月）岩国市社会福祉大会（シンフォニア岩国において）

- 岩国市長表彰
 「岩国市社会福祉功労者（個人）」 宇野 嘉明・中野 和子・佐藤 ミサコ・林 寛子・峠口 由美子
 「岩国市社会福祉功労者（団体）」 なでしこの会
- 岩国市社会福祉協議会長表彰
 「民生委員・児童委員」 植野 慶子
 「福祉員」 小柳 秀雄・森脇 誠治・谷 浩明
 「ボランティア」 井上 花子
- 岩国市社会福祉協議会長感謝状 西山 泰弘・河村 愛子・河村 玲子
- 山口県共同募金会岩国市共同募金委員長感謝状 玖珂地域自治会連合会



10月27日（金）山口県総合社会福祉大会（スターピアくだまつにおいて）

- 山口県社会福祉協議会長表彰
 「社会福祉事業協助者（個人）」 河村 勢津子・中野 和子・佐藤 ミサコ・宇野 嘉明
 「社会福祉事業協助者（団体）」 なでしこの会
- 山口県民生委員児童委員協議会長表彰 中林 哲人・山根 道夫

第32回 いきいきスポーツ交流のつどい

令和5年10月14日（土）、岩国市玖珂町心身障害者協力会・玖珂町手をつなぐ育成会共催により、第32回いきいきスポーツ交流のつどいが玖珂小学校体育館にて開催されました。新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行されたことにより、4年ぶりの開催となりました。

いきいきスポーツ交流のつどいは、障がいのある方も参加できる簡単なスポーツ競技やゲームを行い、参加者全員がスポーツやゲームの楽しさを体験しながら、障がいに対する理解を深めることを目的としております。当日はボランティアの皆さんも競技に参加され、楽しいひと時を過ごされました。



【職員紹介】



「生活支援体制整備事業」のコーディネーターとして、10月1日玖珂支部に着任いたしました、吉藤佐知と申します。

生まれ育った年数より長く過ごしている玖珂町がより楽しく、暮らしやすい町になることを目指して想いや情報をつないでいきたいと思っておりますので、お気軽にお声掛けください。

地域の皆様に色々なことを教えていただきながら少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(香典返し)
野村 浩昭
【ご令息】
河村 康子
【ご主人】

故 様 故 様
河村 哲男
野村 悠希
本町下
【 様 様】

二〇、〇〇〇円
ご厚志



山口県立高森高等学校
家庭クラブ 様



東部でなんかやらん?会 様

■岩国市社会福祉協議会玖珂支部へ
(一般寄付)
山口県立高森高等学校家庭クラブ 様
東部でなんかやらん?会 様

三、四五六円

【寄つてみん祭ー来てみん祭!!(東部地区作品展)で地域の皆様、来場者の皆様からのお気持ちの部をご寄付いただきました。】

善意をありがとございました
岩国市社会福祉協議会に次の方々からご寄付を頂きました。ご芳情に對し厚くお礼申し上げます。(令和五年九月一日〜令和五年十一月三十日 順不同)

善意銀行のご案内

住民の皆様から善意のこもった金銭や物品をお預かりし、その善意をさまざまな福祉の分野で役立てようとするものです。岩国市社会福祉協議会の事務所で受け付けています。

善意銀行への預託(寄付)は税法上の特典があります!!

善意銀行への寄付金は、所得税法上の寄付金控除が認められる特定寄付金または法人税法上の損金算入が認められる寄付金となります。領収書は大切に保管してください。*岩国市社会福祉協議会は「税額控除対象法人」です。

寄付の種類

- 金銭寄付
 - ・篤志によるご寄付
 - ・香典返し、満中陰志に代えて
 - ・バザーやイベントの収益金の一部を
 - ・会社や団体などの行事等の収益の一部を
- 物品寄付
 - ・紙おむつ(未開封)などの日用品
 - ・車椅子などの介護用品(破損等がないもの)
 - ・リングブル、エコキャップなど
- 食品のご寄付
 - ・レトルト食品、パスタ、乾麺、缶詰、など

【ただし、下記の内容にご注意ください。】
 ※賞味期限が明記され、3か月以上余裕があるもの。
 ※常温保存が可能なもの。
 ※未開封のもの。

寄付の用途

サロン等地域活動支援、各種講座の開催、法律相談などの各種相談事業、福祉用具の無料貸出、ボランティア活動支援、生活にお困りの方への緊急食糧支援、など



物品・食品寄付に関するお願い

物品寄付・食品のご寄付につきましては、多数の受け入れにより保管が困難になった場合には一時的に受け入れをお断りする場合がございますので、ご了承くださいませよう願いたします。

〈受付方法〉

お手数ですが、社協窓口までお越しいただくか、ご連絡くださいますようお願いいたします。預託申込書に必要事項を記入していただきます。なお、ご希望に応じて本会が発行しています「社協だより」にご寄付をいただいた方の氏名・金額などを掲載し報告いたします。

〒742-0392 岩国市玖珂町4933番地2 (玖珂中央コミュニティセンター2階)
岩国市社会福祉協議会玖珂支部 TEL : 0827-82-3231 FAX : 0827-82-5449